

# 海外自治体幹部交流協力セミナー2022（ロンドン事務所管内） 事業概要

## 1 テーマ

カーボンニュートラルの取組について

## 2 海外参加者数：9名

Daniella Davila Aquije	ダニエラ・ダビラ・アキーヘ	団長
グレーター・ロンドン・オーソリティ、ビルディングセーフティ、担当マネージャー		
Will Mapplebeck	ウィル・マップルベック	団長
コアシティーズ・ユークー、広報活動、担当マネージャー		
Vicky Wise	ビッキー・ワイズ	団長
ホーシャム・ディストリクト・カウンスル、レジャー・文化、主任		
Lucy Clothier	ルーシー・クロージア	
ストラウド・ディストリクト・カウンスル、副課151担当官、会計マネージャー		
Martin George	マーティン・ジョージ	
ローカル・ガバメント・クロニクル、副編集長		
Ian Hughes	イアン・ヒューズ	
ローカル・ガバメント・アソシエーション、政策部長		
Nabeel Khan	ナビール・カーン	
ロンドン・ランベス区、経済・文化・スキル、部長		
Jonathan Lloyd	ジョナサン・ロイド	
ウォルサム・フォレスト・カウンスル、戦略・洞察・コミュニティ、共同部長		
Jason Strelitz	ジェーソン・ストレリッツ	
ロンドン・ニューアム区、成人健康、共同部長（臨時）		
公衆衛生、部長		

## 3 日程〔2022年1月15日（日）～21日（土）〕

月日	予定	宿泊地
1/15(日)	・参加者来日、オリエンテーション	東京都
1/16(月)	・東京セミナー（日本の地方自治講義、都内施設視察） ・クレア主催歓迎レセプション	東京都
1/17(火)	・受入団体（鹿児島県）へ移動 ・地方交流事業（鹿児島県知事表敬、鹿児島県概要説明、県内施設視察）	鹿児島県

	・鹿児島県主催歓迎夕食会	
1/18(水)	・地方交流事業（視察）	鹿児島県
1/19(木)	・地方交流事業（視察） ・クレア主催帰国前夕食会	鹿児島県
1/20(金)	・東京都へ移動 ・自由行動	東京都
1/21(土)	・参加者帰国	—

#### 4 実施内容

《東京セミナー：1月15日（日）～1月16日（月）》

##### （1）日本の地方自治に関する講義（明治大学教授 木村俊介）

鹿児島県訪問前に、参加者の日本の地方自治に関する理解促進を図るため、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の木村俊介教授による講義を開催した。木村教授から地方自治体の基本構造や役割について、日本と英国を比較しながら説明していただいたことで、日本の地方自治体を取り巻く現状について理解を深めた。



##### （2）国会議事堂の視察及び東京タワー

午前中に行われた地方自治講義の終了後、日本国の国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関である国会議事堂を訪問。英語の音声案内による概要説明を受け、建物自体の歴史や構築的な特徴、国会の構成、国会の権限及び議院権能について理解を深めた。



##### （3）港区役所（環境リサイクル部環境課）講義受講「二酸化炭素軽減の取組について」

東京都港区では、区有施設全てが再生可能エネルギーで賄われており、2050年までにカーボンニュートラルを目指していることから、東京セミナーの訪問先として決定。参加者は、港区の野澤副区長の歓待を受け、その後、港区担当者から、東京都と区の役割の特徴、港区の概要、港区独自の再生可能エネルギーの取組について説明を受け、活発な意見交換を行った。

参加者からは「再生可能木材の確保や火災の危険性」など、多くの質問があった。



#### (4) CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIR が主催する歓迎夕食会を開催し、参加者 9 名のほか、クレアから常務理事、クレアロンドン事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマなどに関し、忌憚のない意見交換を行い、親睦を深める良い機会となった。

### 《鹿児島県セミナー：1月17日（火）～1月20日（金）》

#### (1) 鹿児島県政策概要説明

先ず、鹿児島県地球温暖化対策室から、地球温暖化対策の説明があり、森林経営課及びエネルギー対策課からカーボンニュートラルの取組の説明を受けた。参加者は、特に「エネルギー節約機器等の助成金制度」や「博覧会を通じたカーボンニュートラルの促進」に対して関心を持ち、「日本の地方自治体制度があるからこそできる素晴らしい施策だ」と評価した。



#### (2) 鹿児島県知事表敬訪問

鹿児島県の視察受入について謝意を伝えるため、塩田知事へ表敬訪問を行った。塩田知事による参加者への温かな歓迎の言葉や鹿児島県とイギリスを結ぶ歴史の話題で盛り上がるなど、終始なごやかな雰囲気の中、表敬訪問となった。



#### (3) 新南部清掃工場（鹿児島市）の視察

鹿児島県で最初の視察先として、新南部清掃工場を訪問した。同工場の特徴としては、生ごみなどから発生したバイオガスを精製し、都市ガスの原料（メタンガス）として民間事業者へ売却する取り組みや、ごみ焼却時に生じる熱を利用し高効率発電を生み出す取り組みを行っていることである。担当者から概要説明を受けたあと、実際に上記施設を視察し、施設の仕組みの説明があった。

参加者からは、「生ごみや燃えるゴミの分別は施設内で行っているのか」、「日本の家庭がゴミの分別制度をしっかりと守っていることに感心した」との意見等があった。



#### (4) 鹿児島県主催歓迎夕食会

鹿児島県が主催する歓迎夕食会が市内飲食店で開催された。同日実施された事業説明に関する事項を中心として、幅広く質問が出る一方で、鹿児島県職員とも和やかに歓談するなど、親睦を深めた。

### (5) セツ島バイオマスパワー合同会社（鹿児島市）の視察

鹿児島県内最大の木質バイオマス発電所のセツ島バイオマスパワー合同会社を訪問した。バイオマス発電は、燃料に光合成により CO<sub>2</sub>を吸収して成長するバイオマス資源を使用し、化石燃料と比べて CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献している。

同社担当者から、循環流動層 (CFB) ボイラにパーム椰子殻 (PKS) や木質チップなどの燃料を用いてバイオマス発電を行っている仕組みの説明を受け、発電所内の視察も行った。

参加者からは、「燃料源である木質チップをどのように調達しているのか」、「バイオマス発電の排煙口から出る煙は住民に影響はないのか」との意見等があった。



### (6) 九州電力山川発電所（指宿市）の視察

九州電力山川発電所は、九州電力の3番目の地熱発電所として1995年に運転を開始し、バイナリー発電所※も備えている。同所担当者から、地熱発電及びバイナリー発電の仕組みや過程、発電所の建設方法、電気安定供給に係る鹿児島県と連携した取組などの説明を受け、地熱発電所全体の視察も行った。

参加者からは、「地熱発電所が海沿いの平地に位置していることに驚いた」、「発電後の余分な熱を、無料でビニールハウス、入浴施設等に供給され、発電されたエネルギーが余ることなく活用されていることが印象的だった」との意見等があった。



※バイナリー発電とは、加熱源により沸点の低い媒体を加熱・蒸発させてその蒸気でタービンを回す方式である。

### (7) 白谷雲水峡（熊毛郡屋久島町）

ヤクスギが多く佇む白谷雲水峡は、標高 600m から 1200m の間に位置する自然公園であり、ユネスコ自然世界遺産としても登録されている。散策コースを進みながらガイドによる自然保護の取組や、屋久島の歴史について説明があった。

参加者は、屋久島の圧巻な大自然に魅了され、癒される様子が伺えた。



#### (8) 屋久島電工株式会社（熊毛郡屋久島町）

白谷雲水峡に続き、屋久島電工株式会社を訪問した。同社は屋久島の地質的特徴及び気候を最大限に活用し、水力発電を運営している。標高の落差と全国一位の平均年間雨量があることから水力発電に適している地域であり、その発電されたエネルギーにより同施設をはじめ、屋久島全ての施設及び民家を賄っており、鹿児島県の再生可能エネルギー促進に大きく貢献している。

概要説明を受けたあと、参加者との活発な質疑応答が行われ、「災害のリスク」や、「少雨量時の対策」の質問があり、「地形の特徴を活かした屋久島ならではの素晴らしい施設だ」との意見も挙がった。



#### (9) 屋久島町役場

鹿児島県セミナー最後の視察先として、屋久島町役場を訪問した。同役場庁舎は2019年に建築され、屋久島産の木材がふんだんに使用され、自然への影響を抑えつつ、地域に溶け込む作りとなっている。庁舎や地域資源、屋久島の歴史の説明を受けるとともに、実際に庁舎内を視察し、行政サービスに関する紹介があった。

参加者からは、「木のぬくもりが感じられる素敵な庁舎である」や、「外観の素晴らしさだけでなく、イベント開催を通じて地域住民のコミュニティセンターの役割も果たしている」などの声があった。



#### (10) 意見交換会（屋久島町役場にてオンライン形式）

地方交流事業の総括のため、事業所管の鹿児島県幹部に参加いただき、屋久島町役場からオンライン形式にて参加者の視察結果について鹿児島県庁と意見交換を行った。

参加者からは、「鹿児島県特有の立地を活かした発電によって県内全体への電力供給に努めている点は非常に参考になった」、「再生可能エネルギー生産において発電、環境保護、間伐材活用の一連の流れが1つの組織に管理されている点が印象的だった」、「才能ある若者に留まってもらう取組に共感できた」との意見等があった。



#### (11) CLAIR 主催帰国前夕食会

CLAIR が主催する帰国前食会を屋久島町内の飲食店で開催した。

鹿児島県滞在の最終日ということもあり、視察に関すること以外にもお互いの文化等について交流するなど、和やかな雰囲気のもとで地方交流事業が締めくくられた。

以上